

## 福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（2月分）

留学先大学：Chulalongkorn University

氏名：中垣 蒼

国際地域学部の中垣蒼です。2月に入り慣れてきたこともあり、とても短く感じました。友達にも恵まれ、生活パターンも決まってきて、とにかく楽しいです。ただ、あまり勉強をできていないところが正直なところ。ここで、3月は勉強と体を動かすことを頑張ることにします。

### 『学内での生活』

最近 Reading の授業ではみんなとたくさん話す機会も増え、何気ない日常会話から、面白い表現だなと思ったり、そういう伝え方があるのかと、授業の内容以外にも学ぶことが多く楽しいです。タイ語のクラスでは、新しいことを学ぶ新鮮さがつきませんが、やはりとても難しいです。授業終わりには、仲のいいインドネシア人の子とご飯を食べる習慣ができました。会話の内容はしょうもないことから真面目な話まで、いい友達を持ったものです。近頃はコロナの話で持ちきりですが、その話からインドネシアの保険や社会事情を知る機会になり、毎日いろいろなところから刺激や新しい情報でまみれています。これが留学の1つの魅力かなと思います。1年生の Reading のクラスは間違いなく留学している時間の中で、1番実りある時間だとすでに思っています。自分よりもはるかに英語が堪能な人の前で話す機会を与えてくれ、先生も生徒のみんなも協力してくれ、学ぶことだけで、楽しくて。やはり人に恵まれている人生だなと思います。

### 『学外での生活』

今年はやりたいことがたくさんあるので、タイに留学している期間で大きな旅行に行こうとは思っていません。休みの日は課題やって近くを散策してのんびり過ごしています。仲の良い人は大体チュラの正規生のタイ人であるため、休みの日に遊ぶぞ！とすぐになるほどみんな暇ではなさそうです。3月はそういう人たちと遊べるように1歩踏み込みたいです。そして、今月は学部の1年生がPBLでタイに来ていたので少しだけアサンプション大学に行ってきました。去年自分が参加した時からもう1年も経ったのかと思い、時の流れの速さと、1年経ったらどうなるかわからないものだなと思いました。時間というものを考えるようになり、自分には帰国後、後期が始まる前、就活前にたくさん時間があるので、いろいろ勉強したり、日本にいてもできるだけ英語を使う環境に身を置くようにしたいです。帰ったらまずは、TOEICをやることにします。スピーキングが重要なのは強く感じているので、強いやる気は起きませんが、単語や表現方法を広げるために頑張ることにします。

### 『感じたこと・思うこと』

ビザの延長手続きを明日に控えている今 2 月 26 日夜 9 時、留学ってなんなんやろ？という感じです。半年でも学ぶことは多いし、英語も少しはよくなっていると思うのですが、なんだか掴めない時期にいます。思うように時間が作れないこともあるせいか、勉強に集中できていないような気もします。何があるかわからないのが留学のいいところでもあります、時に悩みのたねにもなります。

暗めの話はこれくらいにして、楽しい話と学んだことを話します。留学で楽しいことは、やっぱり英語で会話がたくさんでき、吸収できるところがすぐに見つかるので、何気なく英語が上達するところです。もちろん自分で勉強することは大切ですが、そんなことは日本でもできるので、タイにいる間は、多くの人と話すことに重点を置くことにします。バンコクのもろ中心地に大学があるせいか、学内はもちろん学外でも英語を使うことが多くあります。学部の長との会話、ビザ延長に関わる書類作成のお願い、銀行口座を開けに行く時など、日本にいては英語を使わないところで使うことが当たり前になるため、自信が少しはついてきました。小さなことかもしれませんが、自分にとっては大きなものです。そのおかげで、強くものを主張することもするようになり、また、気になったらとりあえず聞いてみるというような、自分が持っていなかったスキルが身についてきました。これは、自分の場合は留学しないと得られなかったかなと思うので、ここへきて良かったと思います。

### 『最近の流行り』

書くほどのことでもないですが、最近では Laundry で使うための 10 バーツコイン集め、そして 1 番仲のいいインドネシア人のすすめで食べ始めた学食内ハラルフード廻りです。何かあれば、来月も流行りを書くことにします。

